

ホームステイの手引き

(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

もくじ

| | |
|----------------|----|
| はじめに | 1 |
| 第 1 章ホームステイとは？ | 2 |
| 第 2 章受け入れ | 4 |
| 参考資料 | 7 |
| おわりに | 15 |

はじめに

当財団は本県の地理的・歴史的特性を活かして、諸外国との交流を推進し、沖縄県にふさわしい国際交流・協力拠点形成を目指して、県や国、その他の関係機関と連携し、各種の事業を実施しています。

沖縄県は多文化共生社会の推進や国内外からの観光客の来沖、またアジアの国際交流物流拠点となるなど、文化、スポーツ、産業、学術などの交流を通してお互いの文化、習慣、価値観を学び合う、県民レベルの交流が不可欠です。

ホームステイは沖縄における日常の生活やおもてなしの心を外国人に伝えることができるいい機会でもあり、心を通わせることができる国際理解のための効果的な手段の一つです。

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、当財団のホストファミリー制度の運営にあたり、ご興味をお持ちの多くの県民の皆さんに理解を深めていただけるよう、この手引きを作成しております。今後ホストファミリーとして外国人と交流される際の一助になれば幸いです。

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

第1章ホームステイとは？

外国人を家族の一員として受け入れ、宿泊・生活体験をしてもらうことをホームステイ(Homestay)といます。宿泊を伴わない短時間の訪問の場合をホームビジット(Home Visit)といますが、この手引きでは主にホームステイについてご説明します。

ホームステイを受け入れていただく家庭（家族）をホストファミリー(Host Family)といい、ホームステイをする外国人をゲスト(Guest)またはビジター(Visitor)といます。

<事業の趣旨、ホームステイの期間、費用について>

当財団では、日本の家庭に滞在し、生活を共にすることを通して日本を理解し、交流を深めたいという外国人に、ホームステイ先を紹介しています。また、ホストファミリーには、ゲストの受け入れを通して視野を広げ、国際理解を進める機会を提供しています。当財団が紹介するホームステイの期間は、原則1週間以内（ホームビジットについては、原則として食事の時間帯を避けた2～3時間）としています。

ホストファミリーには、ボランティア（無償）で家庭での食事・宿泊などを提供していただきますが、交通費、通信費、外食代、施設入場料などの個人的費用はゲストが負担します。どの費用がゲストの負担になるかをあらかじめ決め、ゲストに説明すると良いでしょう。

ホストファミリーの意向があり、1週間以上のホームステイを受け入れる場合には、ゲストから食費などの実費相当額を受け取ることをお勧めします。具体的な金額は両者の話し合いで決定してください（目安：1日1,000～3,000円）。

<ホストファミリーになるには？>

ホストファミリーになるための難しい条件は特にありません。家族全員が受け入れに賛同し、人種や民族、宗教の違いで人を差別しない、外国人の役に立ちたい、外国の文化を吸収したいと考えている県内在住のご家庭であれば、当財団のホストファミリーとしてご登録いただくことができます。

当財団のホームステイ事業では、ゲストが滞在中に必要な送迎へのご協力をお願いしていますが、必ずしも乗用車での送迎が求められているわけではありません。公共の交通機関を使って家族の誰かが送迎できれば大丈夫です。不明な点をご相談ください。

また、家が狭くてゲスト専用の部屋が準備できない、外国語が話せないという理由でホストファミリーになるのをあきらめる必要はありません。確かにゲスト用の個室があったり、外国語を使った意思疎通ができたりすることは良いことですが、一番大切なのは歓迎の気持ちを伝えることです。部屋に“WELCOME ○○（ゲストの名前）”など歓迎のメッセージを書いて貼ったり、語学力に自信がなくても身振り手振りや絵を描きながらの筆談をしたりと、色々な工夫や努力で交流を楽しむことはできます。ゲストに自分の気持ちを伝えよう、ゲストの言っていることを理解しよう、という気持ちを持って交流しましょう。

<ホストファミリー登録説明会>

当財団のホストファミリーとしてご登録いただくためには、「ホストファミリー登録説明会」への参加が必要です。当財団のホストファミリー制度、ホームステイプログラムの趣旨にご賛同いただける場合は、説明会で配付する申請書にご記入の上、ご提出ください。

登録申請者のお名前でもボランティア活動保険への加入を行いますので、ご家族の中で活動の中心となる成年の方のお名前での申請をお願いしています。ホストファミリーとしての登録期間は原則1年です。継続を希望すれば、当財団が指定した満了日ごとに更新することができます。

<ゲストはどんな人？>

当財団のホームステイに申し込むには、日本国内にゲストの身元を保証する団体（申込責任団体）が必要です。申込責任団体の例としては以下のような団体が挙げられます。

- ・国や地方自治体およびその関連団体
- ・大学や日本語学校
- ・県人会や国際交流団体等

ゲストは上記のような団体が身元を保証していますので、例えば、沖縄県の姉妹都市からの訪問団や、県内の大学・日本語学校に所属する留学生など、家庭での日常生活を通して日本理解を深め、親善交流を希望する外国人です（当財団では、**宿泊のみを目的としたゲストの申込は受け付けておりません。**）

<ゲスト受け入れまでの流れ>

1. ゲストから当財団にホームステイ利用申込が届くと、当財団から条件の合うホストファミリーに受入希望調査を電子メール等で送付します。
2. 受け入れを希望するホストファミリーは、当財団に連絡します。
3. 当財団からホストファミリーに組み合わせ決定の連絡をします。
4. 受け入れ当日、当財団または申込責任団体職員立ち会いのもと、当財団・空港・モルルール駅などで対面します。

第2章受け入れ

<心構え>

受け入れの前に、ゲストの国について基本的なことを勉強しておきましょう。地理、歴史、民族、宗教、文化、慣習など、日本との違いや共通点、両国の関係などを知っておくことで会話の糸口になりますし、より良い交流に役立つでしょう。

<交流プラン>

ゲストの来日（来沖）目的、年齢、ゲストの行動予定、滞在期間などを考慮し、どこで何ができるか、イベント情報などの資料を集めておきましょう。外国語で書かれたものがあればお土産にもなります。実際には、ゲストと話し合っただけの方が良いでしょう。

<食事>

いわゆる「ごちそう」を毎日提供する必要はありません。普段作り慣れた家庭料理でもてなしましょう。大切なのは何を作るかということよりも、みんなで仲良く会話を楽しみながら食べるということです。ホストとゲストの双方が気後れしないように、普段のもてなしをしましょう。

<食べられないものがある人がいます>

- ・宗教的戒律：イスラム教徒は豚肉、アルコール、ヒンドゥー教徒は牛肉、など
- ・菜食主義者（ベジタリアン）：肉、魚を食べない

※イスラム教徒でもハラール（イスラムの教えで許されたもの）以外の物は食べない、ベジタリアンでも卵、バターなどの乳製品は食べる人と一切の動物性食品を避ける人がいるなど、人により個人差があります。

- ・特定の食物にアレルギーをもっている場合

食べ物に制限のある人は自分から申し出る（申込書に記載がある）と思いますが、ホストファミリーからも確認のうえ、食事の提供をしましょう。ゲストに別のものを提供すれば、ホストファミリーはゲストが食べられない物を食べても差し支えないという考え方もありますが、1～2泊のステイであれば一緒のものを食べるのも思いやりかもしれません。

納豆、塩辛、梅干し、刺身（なまもの）などは、一般に外国人が好まない日本食のようです。興味を示すゲストもいるでしょうし、「試してみませんか」と勧めるのは良いですが、無理強いはやめましょう。

<料理の出し方、食べ方>

大皿に盛り、ゲストが好きなものを食べたい量だけとれるようにするのも良いでしょう。特に初めて食べるものは、口をつけてから好き嫌いがわかることもあります。万一口に合わなかったとしても、この方法ならせつかくの料理を無駄にして双方が気まずい思いをすることも防げるでしょう。

また、最近はお箸を上手に使える外国人も多くなったようですが、やはり慣れない人もいます。お箸、フォーク、ナイフを並べて、ゲストが選べるようにすると良いでしょう。

日本人が慣れない食べ方として、手（指）で食べる文化があります。アフリカ、中近東、南アジア、オセアニアなど手で食べる地域は多く、「便利でおいしい」と言われます。日本に来てあえてそうする人は少な

いかかもしれませんが、そういう文化もあることを知っておいてください。

＜寝具＞

無理にベッドを準備する必要はありません。布団の上げ下ろしによって、ひとつの部屋が昼は居間、夜は寝室と別の用途に変わるのはゲストにとっておもしろい体験になるかもしれません。日本独特の生活習慣のひとつとして楽しんでもらいましょう。

※ゲストに聞いておいた方が良くと思われる質問をまとめておくのも良いでしょう。

＜対面＞

初対面はお互い緊張するものです。恥ずかしがらず、何はともあれ笑顔でゲストを迎えましょう。また、簡単でもゲストの国の言葉であいさつができれば、ゲストの気持ちをほぐすのに役立つのではないのでしょうか。

日本人同士ではあまり一般的ではありませんが、握手もとても友好的なあいさつの方法です。もちろん、日本式におじぎをしても、おかしくはありません。

挨拶が終わったら、家族全員とゲストで自己紹介をしましょう。まずは名前を各人から名乗りましょう。細かいことは少し落ち着いて、全員が顔を合わせる食事のときなどに話すと良いでしょう。

外国語の名前は、初めて聞くとなかなか聞き取りにくいものです。これはゲストにとっても同じことだと思います。紙に書いて渡し、説明してあげると良いかもしれません。

＜家の中＞

まずはゲストが滞在する部屋に案内しましょう。荷物をほどこいたり、一息ついたりする時間が必要かもしれませんから、電灯のスイッチや使用して良いタンス、引き出しなど簡単な説明をしたら、しばらく落ち着く時間をあげましょう。このとき、お茶やお水などの飲み物を出してあげても良いと思います。

ゲストが少し落ち着いたところで、お風呂やトイレなど家の中の案内をしましょう。このとき、使用して良いものや逆にさわってほしくないもの、入ってほしくない部屋などあれば伝えておきましょう。

＜家庭の習慣やルールの説明＞

家庭の一員として生活を共にする上で、是非知っておいてほしい家庭の習慣やルールなどがあれば最初に説明をして理解の上、従ってもらうようにしましょう。自分たち家族にとっての常識が必ずしもゲストにとっても常識とは限りません。

＜説明した方がよいこと＞

- ・トイレ、風呂の使い方
- ・水道の水も飲めること
- ・和室にはスリッパではあがらない
- ・冷蔵庫の中のもの食べたり飲んだりして良いかどうか
- ・電話、パソコンを使いたいとき

<滞在中の過ごし方>

どのように過ごすかは、体調や希望を考慮し、ゲストと話し合っ決めてみましょう。必ずしも観光地に行かなくても、近所のスーパーマーケットでのお買い物も楽しいものです。家庭で一緒に料理を作るのも良い体験になるでしょう。具体的には、「ホームステイQ&A」を参考にしてください。

<お別れ>

家を出る前に、パスポートと航空券、カメラなどの忘れものがないか、ホストファミリーの方からも確認をお願いします。

日本人は贈り物好きの民族と言われますが、ゲストにとってはホストファミリーとの楽しい思い出が一番のおみやげですので、プレゼントは必ずしも必要ではありません。どうしても思われる方は、安価で、かさばらない、壊れにくいものが良いでしょう。滞在中に撮った写真やゲストが使用していた箸なども一案です。

また、昨今はゲストがホームステイ中の写真や動画をインターネット上に投稿することが気軽にできるようになっています。ホストファミリー、ゲスト双方にとって良い思い出になりますが、不特定多数の人から見られることに抵抗がある場合は、事前にプライバシーへの配慮をお願いしておきましょう。

参考資料

ホームステイ受入に関する内容をQ & A方式でご紹介します。ゲストを受け入れる際に参考にしてください。

Q. ゲストと何をして過ごしましたか？

A. ・一緒に買い物をして、食事を作った

☆一緒に楽しめるメニューの例

ゴーヤちゃんぷる、手巻き寿司、焼きそば、鍋、すき焼き、焼き鳥

☆買い物に行った場所の例

近くのスーパーや商店街ショッピングモール

・近所を散歩したり、地域の行事に参加したりした

・ゲストの国の話や食べ物のお話をしたり、テレビを見て盛り上がった

・折り紙（お土産にもなる）、テレビゲーム、トランプ、オセロなどをした

・観光

☆見学・体験の例

書道、茶道、浴衣の着付け、生け花、空手、弓道、学校、そろばん教室、カラオケ、

バッティングセンター、もちつき、海水浴など

Q. ゲストを受け入れて特によかったこと、逆に苦労したことについて。

A. ・言葉の分からない子どもが一番ゲストと仲良くなった

・ゲストに説明するために日本の文化について勉強した

・ゲストが日本のことをとてもよく勉強していて感心した

・時間の守り方に対する感覚が違った

・観光で寺社を回る予定にしていたが、宗教上問題があるということでプランを変更した

Q. 日中家族が家に不在になる場合でも、ゲストの受け入れは可能ですか？

A. 家の周辺などで立ち寄れる場所を紹介し、家族の帰宅時間に待ち合わせるなどして過ごしてもらうと良いでしょう。ゲストによっては、申込責任団体により日中は予定が組んである場合もあります。

〈宗教・慣習への理解〉

どの国にも独自の慣習や宗教上の戒律などがあります。特に「宗教」が生活基盤になっている国もあります。お互いの違いを知り、尊重することに努めましょう。疑問に感じるがあれば、お互いの慣習やしきたりについて話し合うのも良いでしょう。

以下に、簡単に例を挙げますが、同じ宗教でも取り組み方には個人差がありますので、あくまで参考としてください。

〈お祈り〉

イスラム教徒は、普通は1日3回、戒律の厳しい宗派だと5回、聖地メッカのある西の方向を向いてお祈りをします。お祈りの前には顔や手足を洗い清めることになっています。

〈その他〉

左手は不浄の手とする文化はイスラム教、ヒンドゥー教以外にも多く見られます。左手でものの受け渡しや握手はさげましょう。同様に、人差し指で人を指さすのも失礼なこととされています。

またイスラム教では、犬は不浄な動物とみなされているため、触ったり室内に入れたりしてはならないそうです。

タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピンなど東南アジアの国々では、頭を神聖なものと考え、触られるのを嫌うそうです。子どもを見ると親愛の情から頭をなでたくなりますが、うっかり触らないように気を付けましょう。ゲストが病気やケガにみまわれたら、必要に応じて医療機関に連れて行くなどの対応が必要です。ご家庭のかかりつけの病院以外に、外国語の通じる医師のいる病院に連れて行くのもいいでしょう。

当財団のウェブサイト (<http://www.oihf.or.jp>)にある「メディカルインフォ」では、多言語を取り扱う事のできる医療期間に関する情報を提供しています。

医療費に関しては、ゲストが加入している旅行傷害保険などで支払われる場合もありますので、その請求に必要な書類など確認してあげると安心かもしれません。

場合によっては、ゲストの身元を保証する申込責任団体に連絡しましょう。

〈災害時の対応〉

メディアなどで災害に関する情報が流れた場合は、ゲストが過度な不安を感じないよう状況をホストファミリーから説明してあげましょう。

一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR) <http://www.clair.or.jp>が提供する「外国人住民災害情報」のウェブサイトでは、外国人住民向けの災害支援情報を掲載しています。

ゲストの受け入れを機会に、ご家族で災害対策（緊急避難場所やNTTの災害用伝言ダイヤル、非常用持ち出し袋など）について確認されるのも良いかもしれません。

〈便利情報〉

外務省ウェブサイト（日本語）

各国・地域情勢 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

駐日外国公館リスト <http://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist/index.html>

クリア多言語生活情報 <http://www.clair.or.jp/tagengo/>

沖縄観光情報webサイト おきなわ物語 <http://www.okinawastory.jp/>

NTT

災害用伝言ダイヤル操作説明（英語） <http://www.ntt-east.co.jp/en/saigai/voice171/>

災害用伝言板 web171（日・英・中・韓） <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>

受け入れに役立つツール

<緊急連絡カード>

ゲストが一人で外出する時に持っているとう便利でしょう。

緊急連絡カード【記入例】

このカードを所持している外国人に事故などトラブルがありましたら、下記まで連絡をお願いします。

氏名：山田 太郎

住所：福岡市中央区天神〇-〇-〇〇

電話：090-0000-0000

カード所有者 氏名：

血液型 型

緊急連絡カード

このカードを所持している外国人に事故などトラブルがありましたら、下記まで連絡をお願いします。

氏名：

住所：

電話：

カード所有者 氏名：

血液型 型

<質問票>

聞いておくと円滑な交流に役立つ項目を挙げています。

質問票

日常生活のこと

1. 食べられないものはありますか。
2. (日本食で) 食べたいものはありますか。
3. たばこは吸いますか。
4. 朝は何時に起きますか。
5. 夜は何時に寝ますか。
6. お風呂/シャワーには何時に入りますか。
7. 洗濯物は自分で洗いますか。

滞在中のこと

1. すでに決まっている予定はありますか。
(団体としての行事、他の友人に会うなど)
2. 滞在中にやりたいことは何ですか。
3. 福岡および近郊でどこに行きたいですか。
4. 福岡および近郊でどこに行ったことがありますか。

Questionnaire

Regarding daily life

1. Is there anything that you cannot eat?
2. Is there any (Japanese) food that you wish to eat?
3. Do you smoke?
4. What time do you get up in the morning?
5. What time do you go to bed at night?
6. What time do you take a bath/shower?
7. Do you want to wash your own clothes?

Regarding schedules

1. Do you have any plans that have already been made? (ie. activities with groups, or meeting other friends in Fukuoka.)
2. What would you like to do while you are here?
3. Where would you like to go in and around Fukuoka?
4. Where have you already been to in and around Fukuoka?

询问表

日常生活的事宜

1. 你有戒口的吗?
2. (日餐) 你有想吃吗?
3. 你吸烟吗?
4. 你早晨几点起床?
5. 你晚上几点睡?
6. 你几点洗澡?
7. 你是自己洗衣服吗?

住宿期间的事宜

1. 你有没有已经定好的安排?
(作为团体的活动、和朋友会见等)
2. 住宿期间你想做的事情是什么吗?
3. 福冈以及近郊你想去哪儿?
4. 福冈以及近郊你去过哪儿?

질문표

일상생활에서

1. 못 먹는 음식이 있습니까?
2. (일식중에서) 먹고 싶은 음식이 있습니까?
3. 담배는 피웁니까?
4. 아침에는 몇 시에 일어납니까?
5. 밤에는 몇 시에 잡니까?
6. 목욕/샤워는 몇 시에 합니까?
7. 빨래는 스스로 합니까?

체류 중일 때

1. 이미 정해진 일정이 있습니까?
(단체행사, 친구와 만나기로 한 약속등)
2. 체제하는 중에 하고 싶은 건 무엇입니까?
3. 후쿠오카 및 후쿠오카 부근에서 가 보고 싶은 곳은 어디입니까?
4. 후쿠오카 및 후쿠오카 부근에서 가 본 적이 있는 곳은 어디입니까?

<ハウスルール>

家庭の決まり事を説明するときに参考にしてください。

わが家のルール

1. 食事の時間：朝食 _____ 時 昼食 _____ 時 夕食 _____ 時
2. 入浴/シャワーの時間：朝 _____ 時 夜 _____ 時
3. たばこ：□吸わないでください。
□吸うときは _____ で吸ってください。
□どこで吸ってもかまいません。
4. 洗濯物： _____ に置いてください。
5. 帰宅の時間：家族以外と出かけるときは _____ 時までに帰ってきてください。
_____ 時以降になる時は必ず電話してください。
6. 電話、インターネットを使いたいときは家族に言ってください。
7. この部屋は入らないでください。
8. _____ には、触らないでください。



Rules in our home

1. Eating time: Breakfast _____ Lunch _____ Dinner _____
2. Bath/Shower time: _____ in the morning _____ in the evening
3. Smoking Please do not smoke.
 If you wish to smoke, please smoke _____.
 You can smoke anywhere.
4. Please put your washing _____.
5. If you go out with friends other than our family member, please come home by _____.
Please be sure to call us if you are going to be later than _____.
6. If you wish to use the phone or internet, please tell us first.
7. Please do not enter this room.
8. Please do not touch _____.

我家的家规

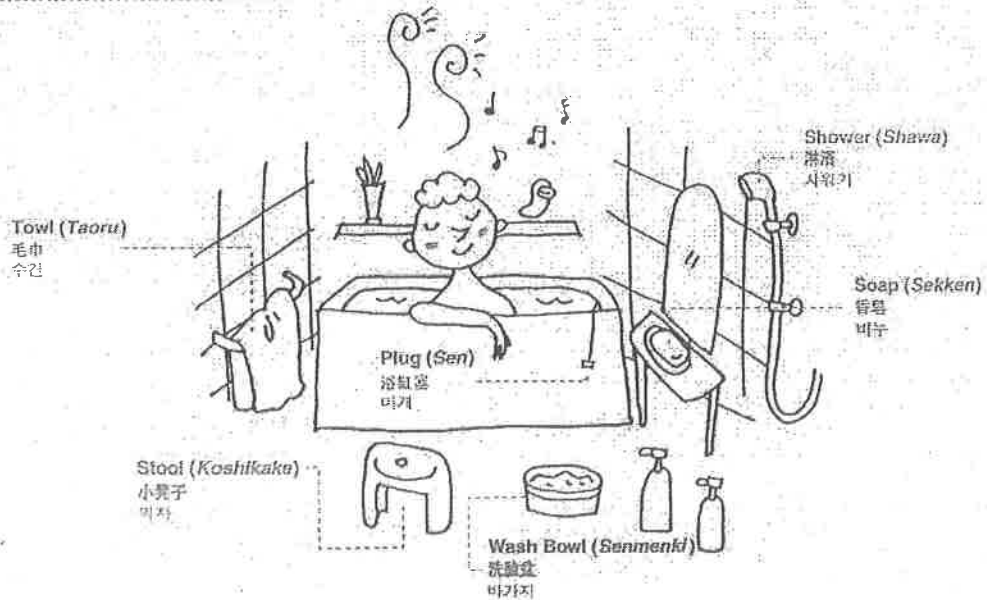
1. 吃饭时间：早饭 _____ 点 午饭 _____ 点 晚饭 _____ 点
2. 洗澡时间：早晨 _____ 点 晚上 _____ 点
3. 烟： 请不要吸烟。
 吸烟时，请在 _____ 吸烟。
 在哪儿都可以吸烟。
4. 要洗的衣服请放在 _____。
5. 回家的时间：和家族以外的人出去时，请在 _____ 点之前回来。
_____ 点以后才能回家时，请必须打电话。
6. 想用电话、上网时，请跟家里人打声招呼。
7. 此房间请不要进去。
8. 请不要触摸 _____。

우리집 규칙

1. 식사 시간: 아침 _____ 시 점심 _____ 시 저녁 _____ 시
2. 목욕/샤워 시간: 오전 _____ 시 오후 _____ 시
3. 담배: 금연
 흡연시에는 _____ 에서 피우십시오.
 모든 장소에서 흡연가능.
4. 세탁물은: _____ 에 놓아 두십시오.
5. 귀가시간: 가족이외의 다른사람과 외출할 때에는 _____ 시 까지 들어 오십시오.
_____ 시 넘어서 귀가할 경우에는 반드시 전화를 해 주십시오.
6. 전화, 인터넷을 사용하고 싶을 때는 가족에게 말씀해 주십시오.
7. 이 방에는 들어가지 마십시오.
8. _____ 에는 손대지 마세요.

<トイレ・お風呂の使い方>

| Japanese-style Toilet 日本式洗手间 좌변기 화장실 | Westen-style Toilet 西洋式洗手间 양변기 화장실 | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------|----|----|--------|----|----|--------|----|----|----------|----|----|
|  |  <table border="1" data-bbox="774 504 989 593"> <tr> <td>おしり Spray</td> <td>臀部</td> <td>세정</td> </tr> <tr> <td>止 Stop</td> <td>停止</td> <td>정지</td> </tr> <tr> <td>乾燥 Dry</td> <td>烘干</td> <td>건조</td> </tr> <tr> <td>ビデ Bidet</td> <td>女用</td> <td>비데</td> </tr> </table> | おしり Spray | 臀部 | 세정 | 止 Stop | 停止 | 정지 | 乾燥 Dry | 烘干 | 건조 | ビデ Bidet | 女用 | 비데 |
| おしり Spray | 臀部 | 세정 | | | | | | | | | | | |
| 止 Stop | 停止 | 정지 | | | | | | | | | | | |
| 乾燥 Dry | 烘干 | 건조 | | | | | | | | | | | |
| ビデ Bidet | 女用 | 비데 | | | | | | | | | | | |
|  <p data-bbox="375 936 821 1052"> Rinse with bath water outside the tub. 首先在淋浴处用浴缸的水冲洗身体。 욕조에 들어가기 전에 몸을 깨끗이 씻어 주십시오. 洗い場でお風呂のお湯を使って体を洗い流します。 </p> |  <p data-bbox="869 925 1308 1070"> Wash outside the tub with body towel and soap, and rinse thoroughly. 在淋浴处用毛巾、香皂将身体洗净并冲洗干净。 몸을 욕조 밖에서 비누를 사용하여 깨끗이 씻어 주십시오. 洗い場でタオル、石鹸を使って体を洗い、きれいに洗い流します。 </p> | | | | | | | | | | | | |
|  <p data-bbox="375 1261 813 1429"> Soak and warm up in the tub. Don't use soap or towels in the tub. 将身体浸泡到浴缸中。 在浴缸里请不要使用香皂或毛巾。 따뜻한 물이 담긴 욕조에 몸을 꼭 담급니다. 욕조 안에서는 비누나 수건을 사용하지 마십시오. 浴槽に入り、体を温めます。 浴槽の中では石鹸やタオルを使わないでください。 </p> |  <p data-bbox="869 1258 1308 1422"> Don't pull the plug because others will use the same water. 因其他人还要继续使用浴缸的水,请不要拔掉浴缸的塞子。 다음 사람이 사용할 수 있도록 욕조 마개를 뽑지 마십시오. 後から入る人のために、浴槽の栓を抜かないでください。 </p> | | | | | | | | | | | | |



Towel (Taoru)
毛巾
수건

Shower (Shawa)
淋浴
샤워기

Soap (Sekken)
香皂
비누

Plug (Sen)
浴缸塞
마개

Stool (Koshikake)
小凳子
의자

Wash Bowl (Senmenki)
洗脸盆
바가지

宗教・慣習への理解

どの国にも独自の慣習や宗教上の戒律などがあります。特に「宗教」が生活基盤になっている国もあります。お互いの違いを知り、尊重することに努めましょう。疑問に感じるものがあれば、お互いの慣習やしきたりについて話し合うのも良いでしょう。

以下に、簡単に例を挙げますが、同じ宗教でも取り組み方には個人差がありますので、あくまで参考としてください。

*参考文献（レインボープラザの図書コーナーにあります）：

60カ国世界比較文化事典（マクミランランゲージハウス）

<お祈り>

イスラム教徒は、普通は1日3回、戒律の厳しい宗派だと5回、聖地メッカのある西の方向を向いてお祈りをします。お祈りの前には顔や手足を洗い清めることになっています。

<その他>

左手は不浄の手とする文化はイスラム教、ヒンドゥー教以外にも多く見られます。左手でものの受け渡しや握手はさけましょう。同様に、人差し指で人を指さすのも失礼なことでされています。

またイスラム教では、犬は不浄な動物とみなされているため、触ったり室内に入れたりしてはならないそうです。

タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピンなど東南アジアの国々では、頭を神聖なものと考え、触られるのを嫌うそうです。子どもを見ると親愛の情から頭をなでたくなりますが、うっかり触らないように気を付けましょう。

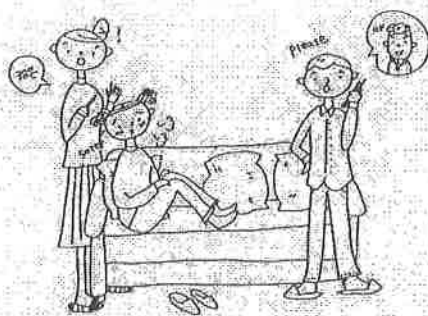
病気やケガをしたら

ゲストが病気やケガにみまわれたら、必要に応じて医療機関に連れて行くなどの対応が必要です。ご家庭のかかりつけの病院以外に、外国語の通じる医師のいる病院に連れて行くのもいいでしょう。

当協会のウェブサイトにある「福岡都市圏ホスピタルガイド」<http://www.rainbowfia.or.jp/hospital/>では、医療に関する情報を提供しているほか、リンク先の「ふくおか医療情報ネット」で言語、診療科目を指定した医療機関の検索が可能です。

医療費に関しては、ゲストが加入している旅行傷害保険などで支払われる場合もありますので、その請求に必要な書類など確認してあげると安心かもしれません。

場合によっては、ゲストの身元を保証する申込責任団体に連絡しましょう。



おわりに-

ホームステイは、沖縄の生活や日本のおもてなしの心を伝えるよい機会となります。人間同士言葉が通じなくても、文化交流や友に過ごす思い出等、目に見えない経験は必ず双方の人生を必ず豊かにすることでしょう。

異文化を持つ人々が、たとえ短期間にせよ生活を共にするのですから、日本では普通と思われているようなことが相手にうまく伝わらず、多少なりとも誤解が生じることもあるでしょう。しかしそのような場合でも、「いろいろな考え方を認めあう Celebrate differences」という気持ちで楽しむくらいの気持ちでゲストを受け入れると良いでしょう。またこのような経験がのちのち印象深い経験としてよい思い出として残ることもあるでしょう。

異文化を持つ多くの人々との出会いを大切に、是非交流を続けてください。日本の国際化は、皆さん一人ひとりの交流から大きなものに実を結んでいきます。ホームステイは、家庭レベルでできる国際交流・国際親善なのです。

2015年7月発行

発行：公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4丁目2番16号

TEL 098-942-9215 FAX 098-942-9220 E-mail kokusai@oihf.or.jp

※発行にあたっては、公益財団法人福岡国際交流協会様に許可を得て発行されている内容を参考とさせていただきました。

